林業経済学会2010年秋季大会案内

秋季大会運営委員会　委員長　**遠藤日雄**

林業経済学会2010年秋季大会を鹿児島大学で開催いたします。

学会開催期間　2010年11月19日(金)～22日(月)
大会受付は，鹿児島大学農学部共通棟１階正面玄関。(別紙地図参照)
大会本部は，農学Ｄ号館５階森林政策学研究室（Tel：099−285−8578）の予定

2010年11月19日(金)　各種会議開催
評議会・理事会　16：00～18：00　農学部共通棟３階　大会議室
編集委員会　　14：00～16：00　農学部共通棟３階　大会議室
表彰委員会　　14：00～16：00　農学部Ｄ号館５階　林政研資料室

11月20日(土)　エクスカーション（宮崎県都城　申し込み期限10月15日）
出発時間（農学部共通棟玄関８：15，鹿児島中央駅前８：30，鹿児島空港９：30）
鹿児島市内着　18：40
林業経済若手交流会　19：00～21：00（農学部共通棟２階　203教室）

11月21日(日)　９：00～11：00　シンポジウム　農学部共通棟２階　204教室
11：00～18：30　テーマ別セッション・自由論題報告
A「利用が集中する保護地域における持続可能な資源管理のあり方」　農学部共通棟２階　203教室
C「最近の国産材供給体制整備から見えてくるもの」　農学部共通棟２階　204教室
自由論題報告　農学部共通棟　201教室および204教室
19：00～21：00　懇親会　鹿児島市上荒田33−４
(大学より徒歩５分，「笑食飲」 Tel：099−259−1848)

11月22日(月)　９：00～17：00　テーマ別セッション，自由論題報告
B「私有林における新たな森林経営形態の展開可能性～活力ある森林経営の構築へ向けて～」
農学部共通棟　201教室
自由論題報告　農学部共通棟　203および201教室

11月23日(火)　屋久島オプションツアー（旅行社斡旋によるツアー予定）

大会参加予定の方へ

1）大会参加費は，一般会員1,000円，学生会員500円です。
2）発表要旨は，必要に応じて学会ホームページからダウンロードをお願いします。
3）懇親会は11月21日に開催いたします。なお料金は一般3,000円，学生2,000円を予定しています。
4）11月21日の昼は，大学内の食堂営業はございません。昼食弁当が必要な方は，前日昼までに大会本部，受付までご連絡ください。
5）発表時に使用できる機材は，液晶プロジェクターです。
6）屋久島オプションツアーは，鹿児島大学生協が情報を提供いたします。ご希望の方は，個別に鹿児島大学生協にお問い合わせください。

○テーマ別セッション

A　テーマ「利用が集中する保護地域における持続可能な資源管理のあり方」【11月21日(日)】

趣旨：国立公園や世界遺産などの保護地域では，年々施設整備が充実し，気軽に立ち寄ることが可能となっています。その一方で，利用者が集中し，トイレ不足や混雑といった問題や，事故・遭難が多発する状況が，顕在化してきました。環境・景観を維持しながら，安全かつ質の高いレク体験を提供するために必要な管理枠組みについて議論をしたいと考えています。なお実際に保護地域に指定されていなくとも，保護されることが望ましい地域資源（里山，里地，温泉，文化的景観など）であれば報告の対象となります。

コーディネーター：愛甲哲也（北海道大学大学院農学研究院）

E-mail：tetsu@res.agr.hokudai.ac.jp，tet1101@ezweb.ne.jp

事務局：（連絡先）柴崎茂光（岩手大学農学部）

Tel・Fax：019−621−6135　　E-mail：shiba@iwate-u.ac.jp

B　テーマ「私有林における新たな森林経営形態の展開可能性〜活力ある森林経営の構築へ向けて〜」【11月22日(月)】

趣旨：小規模零細な森林所有者等による従来型の森林経営の行き詰まりを打破し，成熟期を迎えつつある日本の森林資源を有効に活用するためには，どのような森林経営形態や意思決定支援体制などを構築すれば良いのだろうか。本セッションでは，国内外における森林投資ファンドなど新たな資本関係による森林経営や，林業経営をめぐる主体間の関係のあり方，専門技術者の位置づけなどに関わる動向や実態，発展の可能性などについて議論し，わが国において活力ある森林経営をどのように構築しうるのか展望したい。

コーディネーター：岡裕泰・石崎涼子（森林総合研究所）

Tel：029−829−8323，Fax：029−873−3799

E-mail：oka@ffpri.affrc.go.jp（岡），ryokoi@ffpri.affrc.go.jp（石崎）

C　テーマ「最近の国産材供給体制整備から見えてくるもの」【11月21日(日)】

趣旨：本大会では新生産システムをテーマに掲げるシンポジウムが開催され，九州の事例を中心に3題の報告が行われます。しかし，新生産システムは11地域で取り組まれ，その他の地域でも大規模加工施設を核とした供給体制整備など同様の取り組みが行われています。本セッションでは，近年のこうした取り組みに関してより多様な事例を取り上げ，各地域の林業・木材産業はどこへ向かおうとしているのか，外材を代替しうる競争力を持った体制整備はどこまで進みうるのか，また今後の我々の研究課題は，について議論を深めることを目的とします。

コーディネーター：藤掛一郎（宮崎大学農学部）

Tel：0985−58−7189，E-mail：fujikake@cc.miyazaki-u.ac.jp

○シンポジウム【11月21日(日)】

「人工林資源成熟下における林業生産の再構築―新生産システムの取り組みと到達点―」

1．林業政策における新生産システム事業の特徴と課題（鹿児島大学　枚田邦宏）

2．新生産システムによる国産材供給体制構築を検証する（宮崎大学　藤掛一郎・大地俊介，森林総合研究所九州支所　山田茂樹）

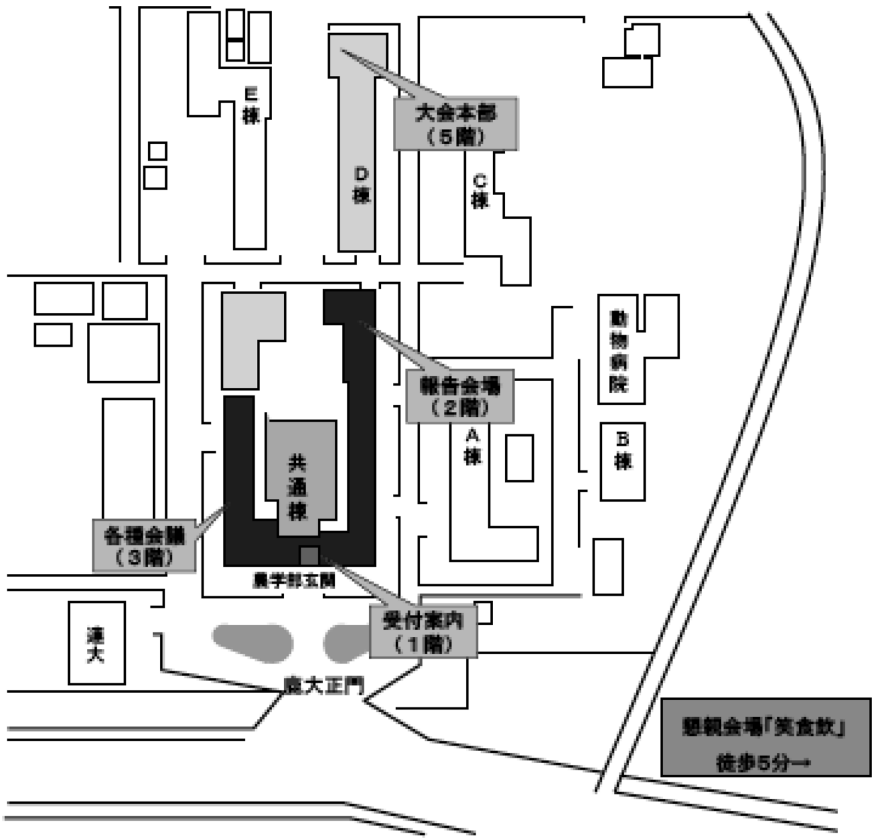
座長：野田英志（森林総合研究所）

2010年秋季大会に関するお問い合わせ・申込先

〒890−0065　鹿児島県鹿児島市郡元1−21−24　鹿児島大学農学部森林政策学研究室

Tel・Fax：099−285−8578　E-mail：khirata@agri.kagoshima-u.ac.jp　枚田邦宏まで

大会会場図（鹿児島大学農学部）



住所：鹿児島市郡元１−21−24　Tel：099−285−8578（大会本部：枚田研究室）
交通：鹿児島中央駅から徒歩15分
　　市営バス（11番：鴨池港行）鹿大正門前下車
各種委員会・報告会場：農学部共通棟（鹿大正門正面）
大会本部：農学部Ｄ棟５階　森林政策学研究室
懇親会会場：笑食飲（鹿児島市上荒田町32−４　Tel：099−259−1848）

2010年林業経済学会秋季大会　エクスカーションのご案内

１．趣旨

今回のエクスカーションは南九州の木材生産・流通拠点である宮崎県都城市で行います。

２．開催日時

2010年11月20日(土)

スケジュール

８：15　鹿児島大学農学部玄関前　出発
８：25　集合①：鹿児島中央駅（出発８：30）
９：20　集合②：鹿児島空港（出発９：30）
10：40　見学①：持永木材（出発11：40）
12：00　昼　食
13：00　新生産システムに関する意見交換会：都城市総合文化ホール（出発14：30）
14：50　見学②：宮崎県森連都城林産物流通センター（出発15：20）
15：40　見学③：外山木材（出発16：40）
18：40　鹿児島市内　解散

＊　集合場所の詳細等が決まりましたら学会ホームページ等でお知らせいたします。

３．参加費

一般3,000円，学生2,500円（昼食代含む，当日徴収のみ）

また，参加希望者の多い場合は，先着50名程度で締め切らせていただくこともありますので，その旨ご了承ください。

〔問い合わせ先〕

E-mail：ohchi@cc.miyazaki-u.ac.jp　Fax：0985−58−5110
〒889−2192　宮崎県宮崎市学園木花台西１−１　宮崎大学農学部（大地俊介宛）

プログラム

11月21日　203会場　11:00～18:30

セッションA　利用が集中する保護地域における持続可能な資源管理のあり方

開始時刻	番号	氏名	所属	テーマ	座長
11:00				セッションの趣旨説明	愛甲哲也 柴崎茂光
11:05	A1	三谷太郎　他	京大	車両通行規制が保護地域訪問者に及ぼす影響―知床世界自然遺産カムイワッカ湯の滝におけるアンケート調査を事例に―	
11:20	A2	吉本 裕　他	岩大	温泉の療養・保養促進に向けた温泉提供者の意向―岩手県を事例として―	
11:35	A3	平川雅之　他	島根大	島根県隠岐におけるエコツーリズムの展開	
11:50	A4	中島　泰　他	(財)日本交通公社	祭祀エリアへの観光利用の集中とその対策―沖縄斎場御嶽の例―	
12:05	A5	寺崎竜雄　他	(財)日本交通公社	慶佐次川流域におけるカヌー利用とヒルギ林保全にかかわる考察	
12:20				保護地域・地域社会とツーリズムの課題：討論	
12:50				昼食	
14:00	A6	柴崎茂光　他	岩大	国立公園における利用者の安全・安心対策の現状	愛甲哲也 柴崎茂光
14:15	A7	庄子　康　他	北大	レクリエーション地域における一般市民のリスク認識―WEBアンケート調査の結果から	
14:30	A8	栗山浩一　他	北大	北海道における自然公園の訪問行動と山岳遭難リスクの影響―クーン・タッカーモデルによる分析―	
14:45	A9	愛甲哲也　他	北大	利尻山における登山者の実態とリスク認識	
15:00	A10	久保雄広　他	北大	ヒグマとの遭遇事故に対する登山者の認識の多様性	
15:15	A11	小野寺伸　他	青森県	十和田八幡平国立公園奥入瀬渓流におけるリスクマネジメントの現状と課題―利用者と管理―	
15:30	A12	山本清龍　他	東大	富士山南麓の登山口別山岳遭難事故の特性	
15:45				保護地域のリスクマネージメント：討論	
16:15				休憩	
16:30	A13	八巻一成　他	森林総研	希少資源管理のガバナンス：レブンアツモリソウを事例に	愛甲哲也 柴崎茂光
16:45	A14	塚　佳織　他	岩大	県立自然公園管理におけるガバナンス形成の現状と課題―種差海岸階上岳自然公園「芝生地」管理を事例に―	
17:00	A15	林あかね　他	東農工大	赤谷プロジェクトの自然資源管理における各主体の役割―基本構想・経営計画策定過程を事例に―	
17:15	A16	柴崎茂光	岩大	屋久島の山岳地域のあり方に関する島民の意向	
17:30				保護地域におけるガバナンス：討論	
18:00				終了予定	

11月21日　201会場　11:00～18:30

自由論題発表

開始時刻	番号	氏名	所属	テーマ	座長
11:00	F1	丸山佳久　他	広島修道大	森林・林業における原価計算の導入・実施を通じた経営改善の方法―兵庫県・丹波市森林組合における伐採・搬出を事例として―	永田　信
11:30	F2	池永啓介　他	元筑波大	造林費用の負担と便益に関する研究―ブラジル・サンパウロ州の造林協会によるパートナーシップ造林の意義と限界―	
12:00				昼食	
13:00	F3	青山将英	山梨県	明治時代の山梨県における森林面積とその実態	三井昭二
13:30	F4	赤池慎吾	東大	国有林形成過程における森林の公益性に関する研究―近代青森県における「従来保安林」を事例として―	
14:00	F5	岸岡健太　他	岩大	牧野組合の経営展開と経営管理の変遷―岩手県岩泉町大川地域を事例として―	
14:30	F6	岩松文代	北九州市大	九州北部地方における竹材業経営の仕組みと動向―「竹林業」の構造に関する考察―	吉良今朝芳
15:00	F7	前川洋平　他	東農大	伝統的木材加工の技術伝承と経営について	枚田邦宏
15:30	F8	宮本基江	森林総研	地域材住宅の供給体制と消費者のニーズ―岐阜県上ノ保産直住宅団体の事例から―	坂野上なお
16:00	F9	道中哲也　他	森林総研	Impacts of the global economic crisis of 2008 on the global forest	川村　誠
16:30	F10	栗畑恭介　他	鳥大連	中国西北部農村地帯における住民組織・活動の現状―農村の持続可能性の視点から―	
17:00	F11	平野悠一郎	森林総研	中国の森林をめぐる価値・便益の構図―資源論的視座から見た今日の中国の森林問題―	
17:30	F12	張　坤　他	森林総研	How the Natural Forest Protection Program influences China's Forest Growth?	
18:00	F13	野寄裕司　他	九大	対馬におけるパルプ材生産の現状分析	遠藤日雄
18:30				終了	

プログラム

11月21日　204会場　11:00～18:30

セッションC　「最近の国産材供給体制整備から見えてくるもの」

開始時刻	番号	氏名	所属	テーマ	座長
11:00		藤掛一郎	宮大	セッションの趣旨説明	
11:05	C1	幡　建樹	(株)スペースビジョン研	国産材製材の新たな展開―新生産システム熊本・大分圏域モデルを中心として―	遠藤日雄
11:25	C2	大地俊介 他	宮大	製材工場の規模拡大にともなう原木流通の特売化傾向　大分県日田地域の事例	
11:45	C3	山田茂樹	森林総研	大規模国産材製材工場の原木確保と林業構造	
12:05				討論	
12:25				昼食	
13:20	C4	多田忠義	東北大	東北地方における合板向け国産材供給の実態と地域性	山田茂樹
13:40	C5	中尾信彦	北大	主伐期における人工林業材生産の構造―カラマツ材を中心に―	
14:00	C6	大塚生美	林経研	先進林業地における木材安定供給の現局面―静岡天竜地域を事例として―	
14:20				討論	
14:40	C7	松本美香	高知大	久万林業地における林業構造の変化と安定供給体制整備の取り組み	藤掛一郎
15:00	C8	相川高信　他	三菱UFJリサーチコンサル（株）	新生産システムを越えて―高知中央，東部地区の実践から見えてくるもの―	
15:20	C9	鹿又秀聡	森林総研	森林・所有者情報データベースはなぜ利用されないのか	
15:40				討論	
16:00				総合討論	
16:30				休憩	
		自由論題発表			
16:40	F14	吉野　聡	東農大	群馬県下仁田地域における森林組合・素材市場・製材業者の業者間のニーズの違い	志賀和人
17:10	F15	盛永雅子　他	九大	組合員の伐採意向をふまえた日田市森林組合の団地化施業	
17:40				終了	

プログラム

11月22日　201会場　9:00～16:30

セッションB　私有林における新たな森林経営形態の展開可能性

開始時刻	番号	氏名	所属	テーマ	座長
9:00		岡　裕泰	森林総研	セッション開始にあたって	
9:05	B1	都築伸行	森林総研	私有林施業集約化における森林組合の可能性～職員の業務分担と組織運営分析より～	田中　亘
9:30	B2	興梠克久　他	筑波大	基幹林業従事者育成の現状と課題―2009年全国調査結果をもとに―	
9:55	B3	原田　唯　他	島根大	提案型施業・団地化に対する森林所有者の意識と課題	
10:20				討論1	
10:35	B4	久保山裕史 他	森林総研	オーストリアにおける個人有林林業の現状について―シュタイヤーマルク州を事例として―	垂水亜紀
11:00	B5	山本伸幸	森林総研	フィンランドにおける森林所有者共同組織の性格を巡って	
11:25	B6	堀　靖人　他	森林総研	ドイツにおける新しい森林組合	山本伸幸
11:50	B7	石崎涼子　他	森林総研	スイス・ルツェルン州における地域組織プロジェクトについて	
12:15				討論2	
12:30				昼食	
13:20	B8	立花 敏　他	森林総研	森林投資型人工林経営の国際的展開に関する研究	石崎涼子
13:45	B9	田中 亘	森林総研	国内の森林を対象とした新たな投資動向	
14:10	B10	岡　裕泰	森林総研	私有林における新たな森林経営形態の展開可能性	
14:35				総合討論	岡　裕泰
14:55				休憩	
		自由論題発表			
15:00	F30	高橋卓也	滋賀県大	森林認証普及には何が必要か：認証機関への聞き取りと都道府県別普及率からみた促進・阻害要因の考察	大田伊久雄
15:30	F31	山本美穂　他	宇大	解題：フランスCFT（森林憲章）の第二総括	堀　靖人
16:00	F32	藤原敬大　他	九大	インドネシアにおける分収型森林管理の現状と課題	宮本基杖
16:30	F33	RAKOTONDRAMANGA SOALANDY	東農工大	Decentralization, forest and livelihoods: Case studies from Bohol Province, the Philippines	
17:00	F34	松村幹了	北大	北海道の山林種苗業の現状と課題	山田茂樹
17:30				終了	

11月22日　203会場　9:00～16:30

自由論題発表

開始時刻	番号	氏名	所属	テーマ	座長
9:00	F16	小菅良豪　他	島根県大	森林資源のエネルギー利用における可能性と課題①―島根県三隅発電所の混焼発電実証事業が地域経済及び森林に与える影響について―	伊藤幸男
9:30	F17	福島万紀　他	島根県セ	森林資源のエネルギー利用における可能性と課題②―島根県浜田市弥栄自治区における小規模林業グループの取り組み―	
10:00	F18	笠松浩樹　他	島根県セ	森林資源のエネルギー利用における可能性と課題③―大規模集約型と地産地消型の比較より―	
10:30	F19	福原宜美　他	東農工大	イノシシ害対策事業における住民参加の実態と課題―栃木県日光市長畑地区を事例として―	八巻一成
11:00	F20	幸地彩子　他	東農工大	自然保護運動における運動主体間の関係性―泡瀬干潟保全運動を事例に―	
11:30	F21	小松朋代	東大	山村における生活体験型教育旅行受入の展開と課題―子ども農山漁村交流プロジェクトに着目して―	井上真理子
12:00				昼食	
13:00	F22	伊藤勝久　他	島根大	一般市民の荒廃森林整備に対する意識分布―森林環境税、森林整備主体を中心に―	古川　泰
13:30	F23	高橋拓也　他	山形大	やまがた緑環境税の交付金活用についての研究―山形県鶴岡市における事例から―	
14:00	F24	佐伯直俊　他	東農大	都市近郊における森林管理に関する研究	山本美穂
14:30	F25	芳賀大地	東大	中間農業地域における森林管理の現状と課題―栃木県茂木町T集落を事例に―	佐藤宣子
15:00	F26	由水　葵　他	京大	ガバナンス視点からみた集落組織と資源管理―京都府南丹市美山町知井地区を事例に―	
15:30	F27	早尻正宏	山形大	森林地域の内発的発展と学校づくり―高等学校森林・林業系学科の試み―	竹本太郎
16:00	F28	奥山洋一郎　他	鹿大	林業技術者養成プログラムに対する受講生の評価	藤掛一郎
16:30	F29	川﨑章惠　他	九大	森林組合作業班再編による一人親方団体新設とその退会者の動向	
17:00				終了	

注）島根県セ：島根県中山間地域研究センター